

NEST ロボコン 2026 レスキューライン競技会ルール

【更新履歴】:

- ・08/14 (赤字):RWL/RCL ローカルルールを追加(競技の最大時間について)

NEST ロボコンで実施する次の2競技についてのルールを記載します。

▼対象競技▼

- ・RWL:World Class Rescue Line (ワールドクラス レスキューライン)
- ・RCL:Challenge Class Rescue Line Entry (チャレンジクラス レスキューラインエントリー)

▼適用ルール▼

- ・RWL: RoboCupJunior Rescue Line Rules 2025 (日本語翻訳版)
- ・RCL: Rescue Line Entry Rules 2026

▼競技ルールの優先順位▼

NEST ロボコンでは、競技ルールは下記に示す優先順位で実施します。それぞれの資料に同様の項目が記されていた場合、より優先度の高い資料の記述を参照します。

- 1) 本資料(次項「▼NEST ロボコンにおけるローカルルール▼」を参照)
- 2) 各レスキュー競技のルール(前述の「▼適用ルール▼」を参照)

▼NEST ロボコンにおけるローカルルール▼

【RWL】

- ・ 1.3 において、提出が必要なものは「ポスター」(A3 横)のみで、当日持参する。
- ・ 3.7 傾斜路は設定しない
- ・ 3.8 シーソーは設定しない
- ・ 3.10.2 被災者に使用するボールは、ピンポン球サイズで、重量は 30~50g を予定
- ・ 4.1. ツールを利用する際、車検時に『チームによって開発した』ことを説明できるよう、事前準備をしておいてください。
- ・ 4.3.6 記載されているハンドルは、以下のルールを全て満たすものを作成してください。
 - ロボットの上部に設置し、審判等チームメンバー以外の第三者も容易に認識・持ち上げができること。
 - ハンドルは1つで、片手で持ち上げられるようにすること。
 - ハンドルは、ロボットに対して可動部を持たず、完全に固定されていること(ハンドルが回転・伸縮する機構をもつもの、針金やクリアファイルのように手で容易に変形できる材料で作成されたものは認めない。)
- ・ 4.3.7 競技進行停止の時は事前に説明があれば、2 つ以上のスイッチでも再スタートが可能である

- 4.5.6. 競技会前に「Web フォーム」における記入・提出はありません。
- 4.5.7. 競技会前に「ソースコード」の提出はありません。
- **5.3.1. 各チームの競技時間は最大 6 分とする。**
- 5.3.5. 得点走行を開始したら、ロボットを競技エリアから出すことはできません。得点走行前は可能です。
- 5.3.6. 競技時間の中での調整中（得点走行開始前）に、ロボットを競技フィールドで実際に走行させても良い。
- 5.6. 得点 Scoring で定義した得点の合計のみで評価を行う。
- 6. 競技会 Competition は、適用しません。
- 7.3 において、提出が必要なものは「ポスター」（A3 横）のみで、当日持参する。

【RCL】

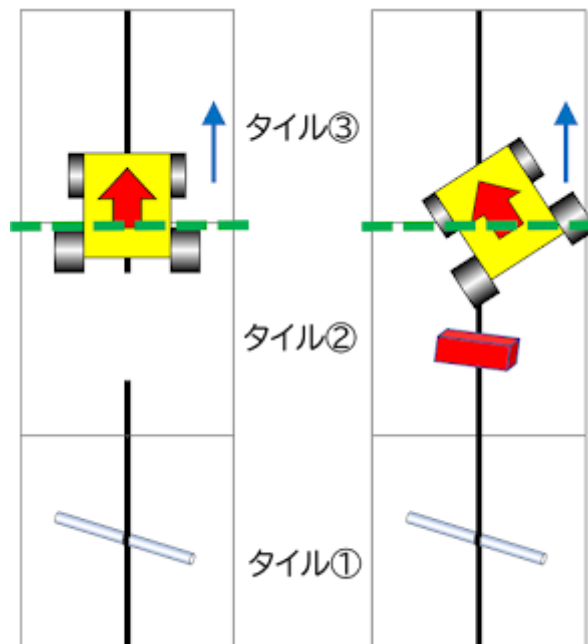
- 2.2.3 傾斜路は設定しない
- 3.2.7. 記載されているハンドルは、以下のルールを全て満たすものを作成してください。
 - ロボットの上部に設置し、審判等チームメンバー以外の第三者も容易に認識・持ち上げができること。
 - ハンドルは 1 つで、片手で持ち上げられるようにすること。
 - ハンドルは、ロボットに対して可動部を持たず、完全に固定されていること
(ハンドルが回転・伸縮する機構をもつもの、針金やクリアファイルのように手で容易に変形できる材料で作成されたものは認めない。)
- 3.4 検査において、提出が必要なものは「ポスター」（A3 横）のみで、当日持参する。
- **4.3.1. 各チームの競技時間は最大 6 分とする。**
- 4.3.6 競技時間の中での調整時（得点走行開始前）に、ロボットを競技フィールドで実際に走行させても良い
- 5.2. 評価基準において、提出が必要なものは「ポスター」（A3 横）のみである。

【共通】

- RWL および RCL 共に、後述する方法にて順位を決定し、表彰する
- RWL および RCL 共に、チーム人数は 1 名以上で出場可能とする
- 大会当日に提出する「ポスター」は、審査員が評価をし「プレゼンテーションポスター賞」を選出する
- RWL および RCL 共に、参加チーム数などを踏まえ、競技時間を変更する場合がある
- 得点要素のあるタイルが2つ連続し、かつ、2つ目の得点要素の配置場所によって、ロボットがタイル②に到達することが不可能場合には、2つ目の得点要素の成功により、2つとも得点を認める

(次ページに続く)

例：タイル①（バンプ）とタイル②（ギャップまたは障害物）が連続している



→タイル③に到達したとき、タイル①②の得点を認める

※会場その他の理由より、ルールの改定・追記が行われる場合があります。修正・追加があった場合、HP や参加者ミーティングでお知らせします。

▼競技及び順位決定方法▼

【競技方法】

RWL、RCL の競技は各チーム計 2 回実施し、2 競技の合計得点で順位付けする。

【順位決定方法】

順位は、以下の優先順位で決定します。

1. 合計得点が高い方を優先とする
2. 競技時間の合計が短い方を優先とする
3. 救出/発見した被災者の合計が多い方を優先とする
4. 競技進行の停止回数の合計が少ない方を優先とする

※各競技の参加チーム数などにより「競技方法」や「順位決定方法」など変更になる場合がある。

▼当日提出資料▼

競技に参加するに当たり、下記資料を当日持参ください。

1. プレゼンテーション用ポスター (RWL、RCL 全チーム必須)

提出フォーマットなどは大会要項をご参照ください。

<https://www.npo-nest.org/workshop/robocon/robocon2026.html>

注記)各チームは会場に掲示するために印刷したものをご持参ください。

2. RCJJ2026 リチウムイオン二次電池チェックシート(対象チームのみ)

リチウムイオン二次電池を使用するすべてのチームは、RCJJ2026 名古屋 二次電池取扱注意事項を確認・理解の上、チェックシートを提出してください。

リンク:[二次電池取扱注意事項とチェックシート](#) (日本語版と英語版あり) (日本語版を使用ください)

注記) チェックシートの項目 11:過電流保護機能, 項目 12:過放電防止措置の説明欄は記入を任意とします(対策されていることが望ましい)。各自、注意事項をしっかりと遵守したうえで扱うようにしてください。

・例に書いている、チェックシートの提出期限は無視してください。

チェックシートは、原本は当日必ず持参し、車検時に提出をお願いします。

3. レーザーのデータシート(対象チームのみ)

ワールドクラスでのみ許可されているレーザーを使用するチームは、車検時にデータシートをご持参ください。

以上